

中小企業向けのDXを提案

BCP（事業継続計画）の対策はお済みですか？

リモートワークも可能なプラットフォームでBCP対策を実現しませんか？

- テレワークとBCP
- BCPを兼ねたテレワークとは
- BCPの中小企業の取り組みについて



AWSとは？

AWSとはなんですか 最初に、その説明をいたします

AWSとは

AWSとはAmazon Web Servicesの略で、Amazonが提供している100以上のクラウドコンピューティングサービスの総称です。

※クラウドコンピューティングとは、インターネット経由でコンピューティング、データベース、ストレージ、アプリケーションをはじめとした、さまざまなITリソースをオンデマンドで利用することができるサービスのことを指します。

AWSをプラットフォームとして利用したサービスでは、NetflixやPayPayなどが有名なものとして挙げられます。



AWSは2006年からクラウドサービスを提供しています
 世界23か所に73を超えるデータセンターを持っているため高い耐障害性を提供できる設定になっています

AWS

そのため、アメリカ国防省をはじめ多くのお客様から選ばれており
 世界シェアは52%
 日本国内でのシェアは42%となっており
 世界で最も選ばれているクラウドサービスとなります。

数字で見るAWS

- 世界に先駆け **2006年** よりクラウドサービスを提供、**14年** の実績
- 2018年で合計 **1,900** を超える機能拡張/改善
- 世界に **23か所** のリージョン、**73** のアベイラビリティゾーン
- 世界 **190か国** にて **数百万** のお客様が利用
- 日本では **数十万** のお客様が利用
- 累計で **88回** の値下げをして利益をお客様へ還元
- 世界に **数万社** のパートナー・エコシステム

© 2018, Amazon Web Services, Inc. or its Affiliates. All rights reserved.

aws solutions training for partners

Why AWS ? = 同APIで世界中のリージョンが利用可能

1. 米国東部 (バージニア北部)
2. 米国西部 (カリフォルニア)
3. 米国中部 (オレゴン)
4. 欧州 (アイルランド)
5. アジアパシフィック (東京)
6. 南米 (サンパウロ)
7. アジアパシフィック (シンガポール)
8. アジアパシフィック (シドニー)
9. GovCloud (米国西部)*1
10. 中国 (北京)*2
11. 欧州 (フランクフルト)
12. アジアパシフィック (シドニー)
13. アジアパシフィック (メルボルン)
14. 米国東部 (オハイオ)
15. カナダ (トロント)
16. 欧州 (ロンドン)
17. 中国 (香港)*2
18. 欧州 (パリ)
19. アジアパシフィック (大阪リージョン)*3
20. GovCloud (米国東部)*1
21. 欧州 (ストックホルム)
22. 香港特別行政区
23. 中東 (ドバイ)
24. アジアパシフィック (マニラ)
25. 欧州 (ミラノ)

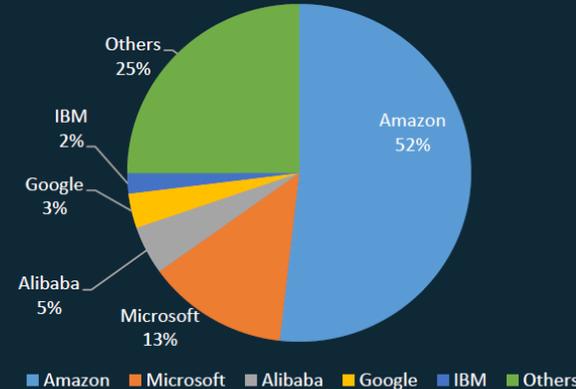


高い耐障害性

aws solutions training for partners

Why AWS ? = お客様に選ばれるクラウド

Worldwide IaaS Public Cloud Services Market Share

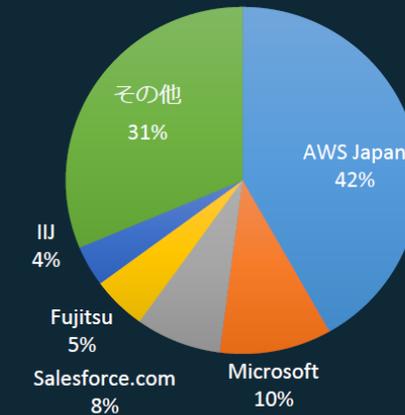


出典: Gartner (Aug 2018)

<https://www.gartner.com/en/newsroom/press-releases/2019-08-01-gartner-says-worldwide-iaas-public-cloud-services-market-grew-30-percent-in-2017>

© 2018, Amazon Web Services, Inc. or its Affiliates. All rights reserved.

日本国内共有型IaaS/PaaS 市場占有率



出典: 富士キメラ総研

「2018年 クラウドコンピューティングの現状と将来展望」

aws solutions training for partners

AWSのメリット・デメリット

メリット

【コスト面】

ハードウェア・ソフトウェアを購入する必要がないので**初期費用が抑えられる**。また従量制の課金となるため、定額制と比べて無駄なコストが発生しにくい。

【セキュリティ・管理者負担】

サービス側で、常に最新のセキュリティが施された上でさまざまな第三者機関認証を取得したセキュアな環境が提供され、さらにハードウェアの管理やソフトウェアのアップデートの**最新化処理を行ってくれる**ため、**管理者の負担がかからない**。

【拡張性】

スペック（CPU・メモリ・ストレージ容量など）の**拡張が簡単かつスピーディー**に行える。

【スピード】

ハードウェアの購入が不要なので、必要な環境をすぐに利用できる。スペックの変更にも時間がかからない。結果、**ビジネスのスピードを高める**ことができる。

【スペース】

サーバーを設置する物理的なスペースを用意する必要がない。その分、**スペースを確保できる**。

デメリット

【コスト】

従量制の課金となるため、毎月の費用が読みにくい。

【ノウハウ】

サービスが100種類以上あり今後も増えると予想されるため、相応の経験が必要。またAWSではサーバーなどの環境は用意してくれるが、その先の管理はユーザーが行うことが必要であるため、問題が発生した際のトラブルシューティングなどの技術も必要。

AWSを利用している
大企業

麒麟ビール/NTT東日本/
大阪ガス/ソニー銀行 など

柔軟な対応

必要に応じて、サーバや仮想デスクトッ
プを増やしたり減らしたりする事が可能

迅速な構築

設定画面から数クリックでサーバを
新たに構築できる

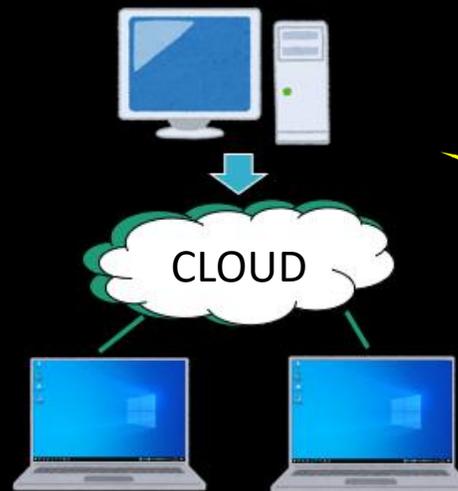
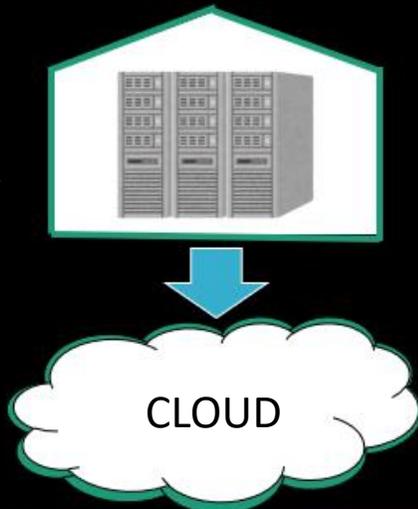


テレワークとBCP

クラウドを利用したテレワーク導入に関する課題

クラウドを利用したテレワーク環境

社内のファイル
サーバーをクラ
ウドに移行



デスクトップを
クラウドで利用

クラウドの利用がBCP対策にも！



BCPとは？

それではBCPとはなんでしょう。

BCP

Business Continuity Plan (事業継続計画)

BCP（事業継続計画）とは以下の事態に遭遇した場合に…

地震

台風や豪雨

津波

テロなどの
緊急事態



事業資産の損害を最小限にとどめつつ中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための、方法・手段などを取り決めておく計画が

事業継続計画の策定

BCPとは

体験談になりますが…

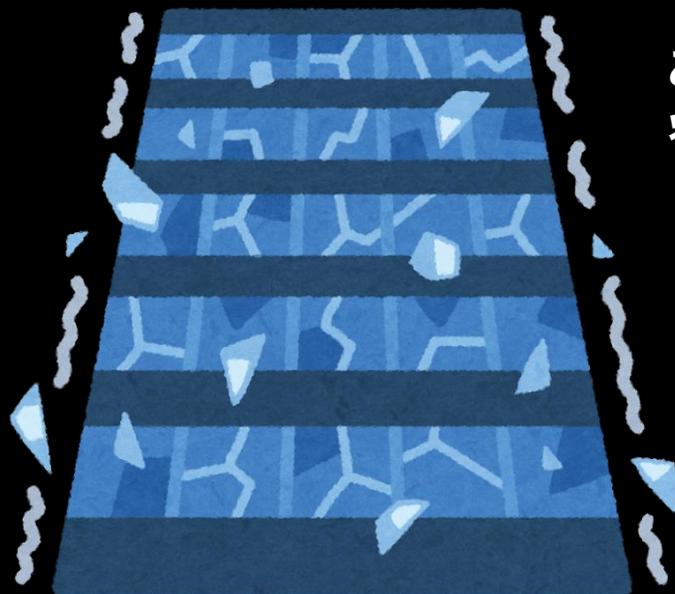
以前、官公庁のシステムにかかわっていましたが
当時は、まだ「クラウド」という言葉は
それほど浸透していない状態でしたが
システムはクラウドと同じ構成で
運用されていました

全国からWeb画面で入力された
業務データがネットワークを經由し
て東京に集まる

東京のデータセンター

BCPとは

2011年3月11日に東日本大震災が起きました



ご存知でしょうが、津波で北日本太平洋沿岸は壊滅状態となりました

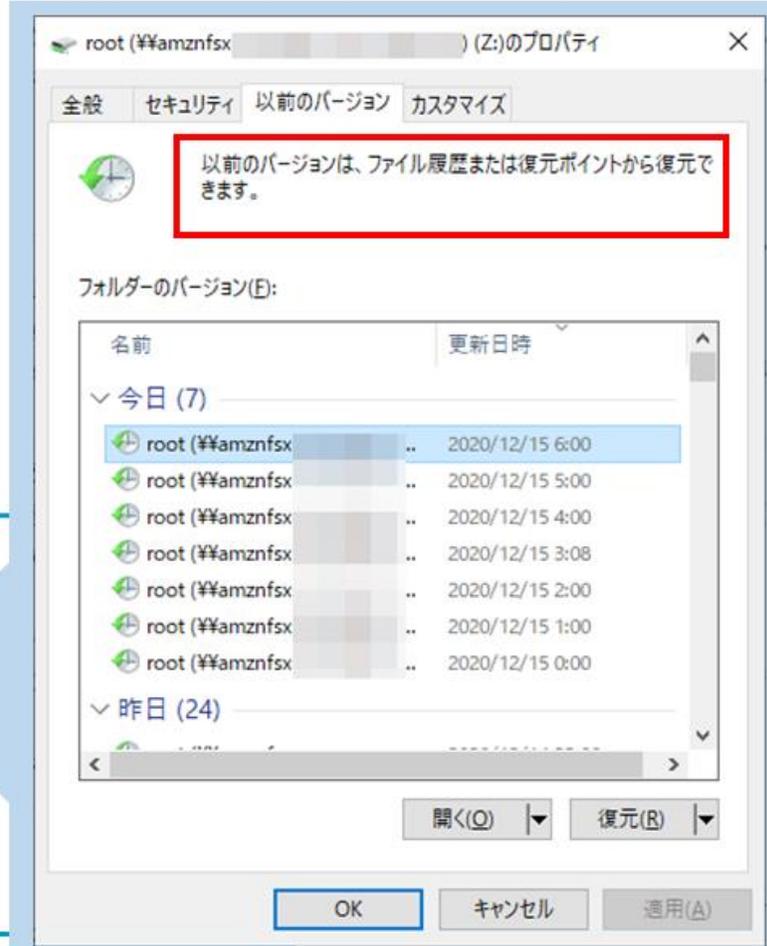
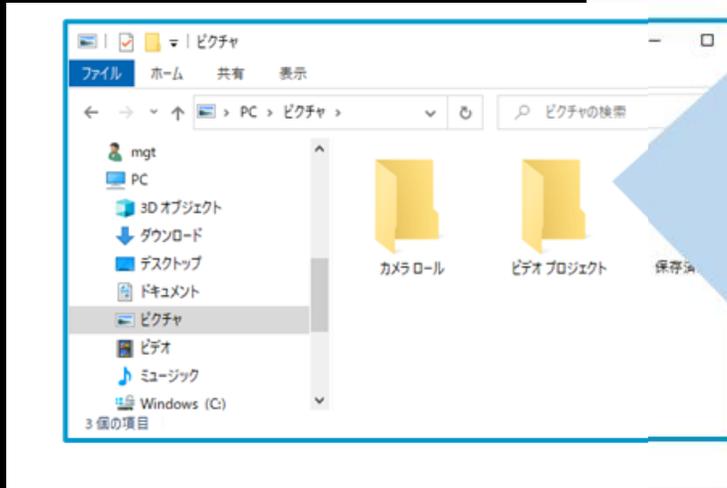


省庁の建物も津波に飲み込まれパソコンやプリンターなどの周辺機器は全て壊れてしまいました



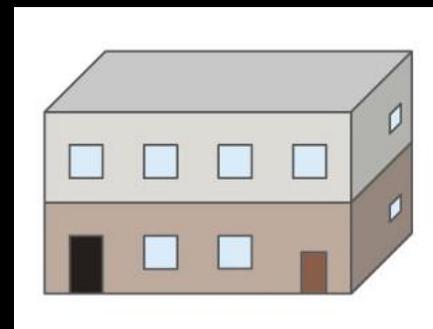
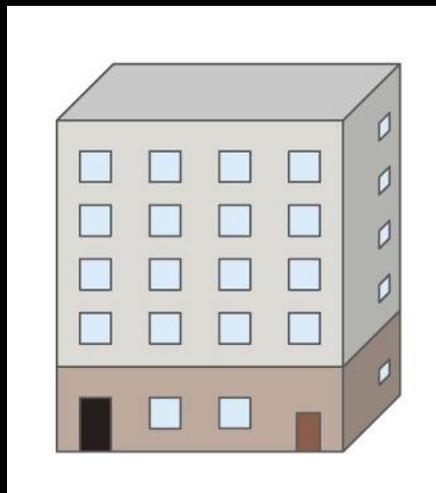
BCPとは

しかし…
データは
センターにすべて保存されていたので
業務データや職員が作成したファイルなどの
データはすべて安全に確保されていました。
パソコンを確保するための時間のみに一時的に業務が止まることありましたが、データはセンターに残っていたので、パソコンの復旧後は問題なく業務が再開されました。
社内に設置してるサーバーであった場合はパソコンとともに津波に飲み込まれ、すべてのデータが消えて復旧もできない状態だったと思います。



BCPとは

直ちに有効な手を打つことができなければ、事業縮小や廃業に追い込まれるおそれがあります



取引先から事業継続計画を求められることもあります
事業継続計画が無い会社は取引を止められてしまう場合もあります



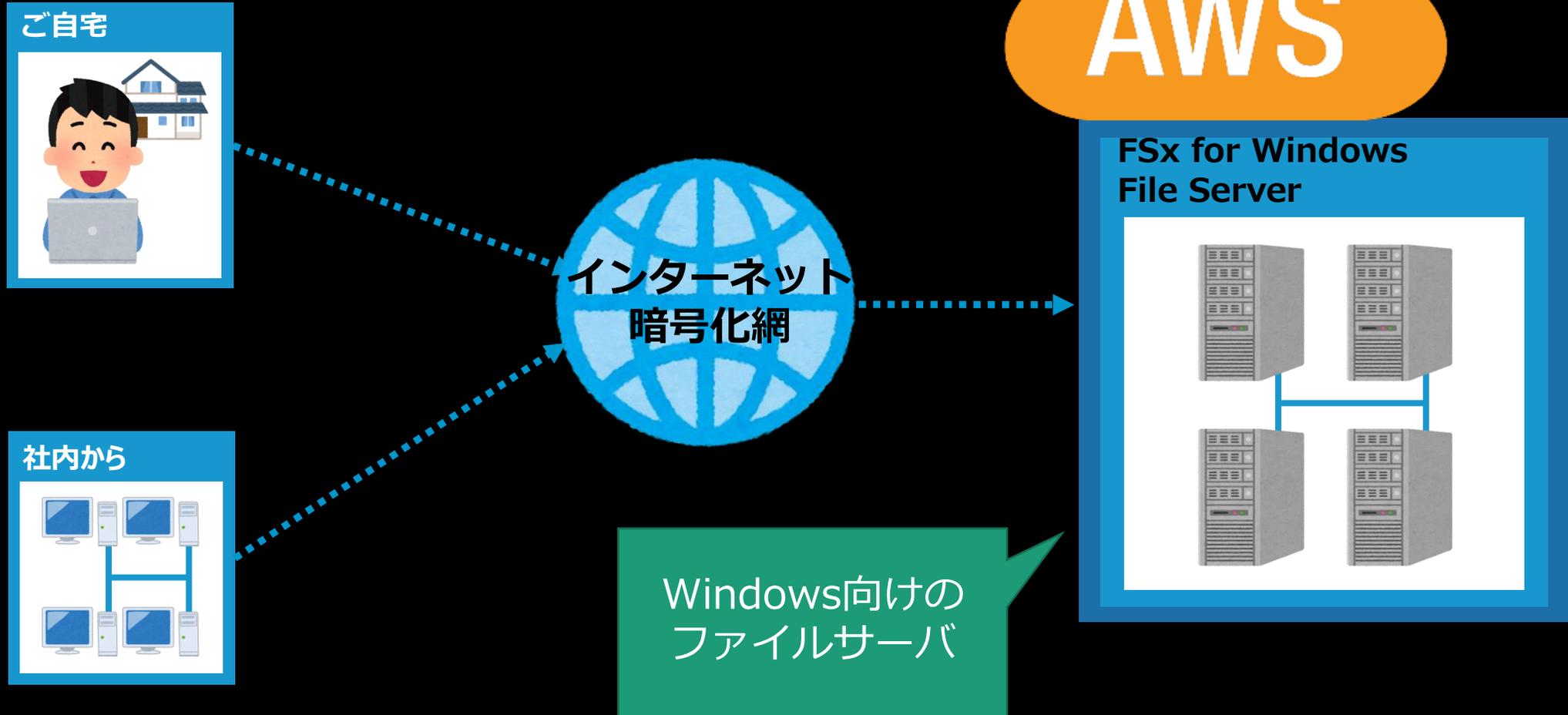
お断りします

BCPを兼ねたテレワークは どうすればいいのでしょうか？

基幹データや共有データはファイルサーバーに保存していると思います
そのファイルサーバをクラウド化すればどこからでもアクセスできるテレワーク対応を兼ねた
BCP対策とすることができます

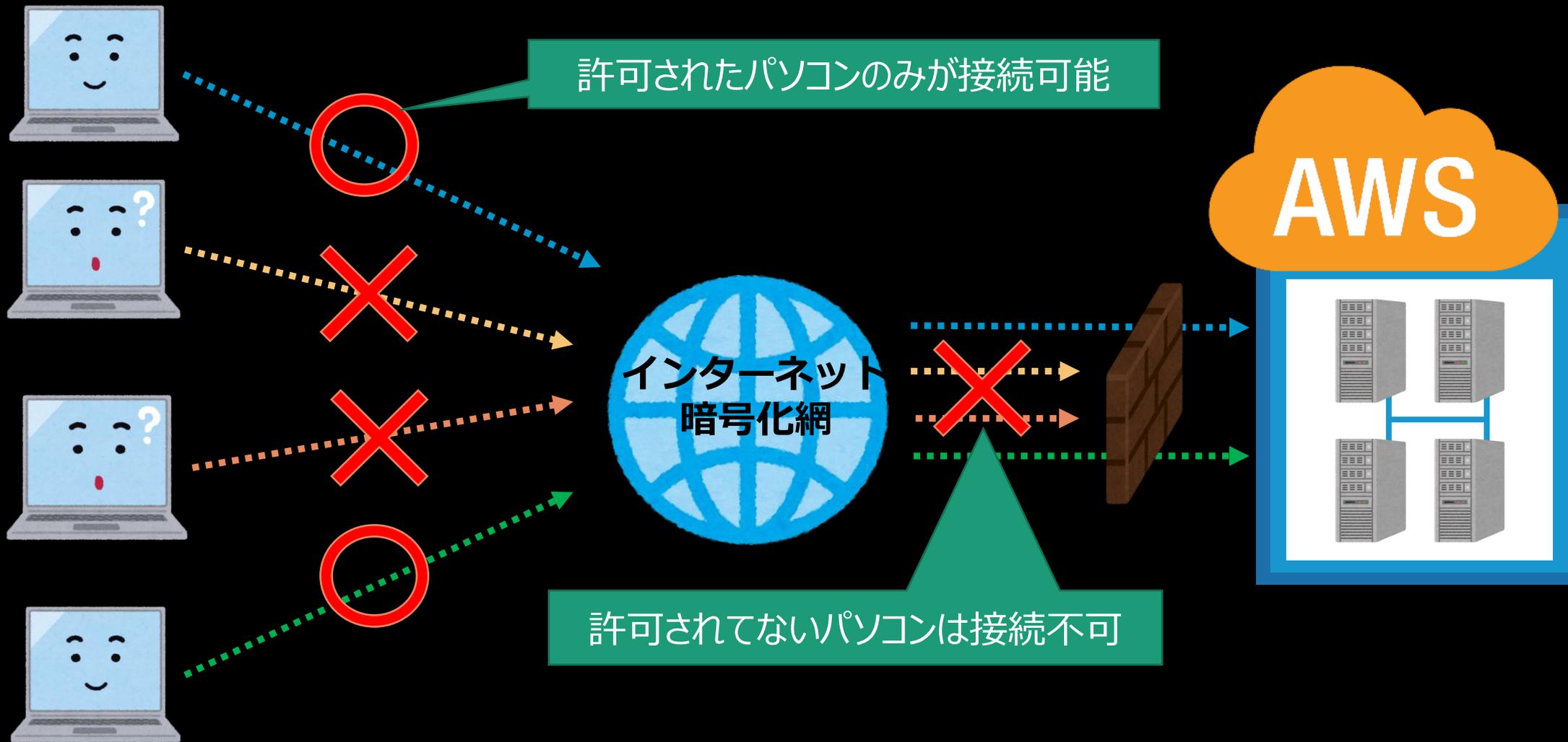
提案・クラウドファイルサーバー

FSxはAWSが提供するWindows向けのファイルサーバで
お手持ちのパソコンを使って接続することができます
社内や自宅からアクセスすることができます



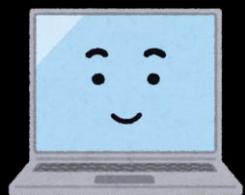
ファイルサーバーへの接続は特定のパソコンのみ

接続時の通信は暗号化されており、IDパスワード認証に加えて、許可されたパソコンのみを接続可能にする設定も可能



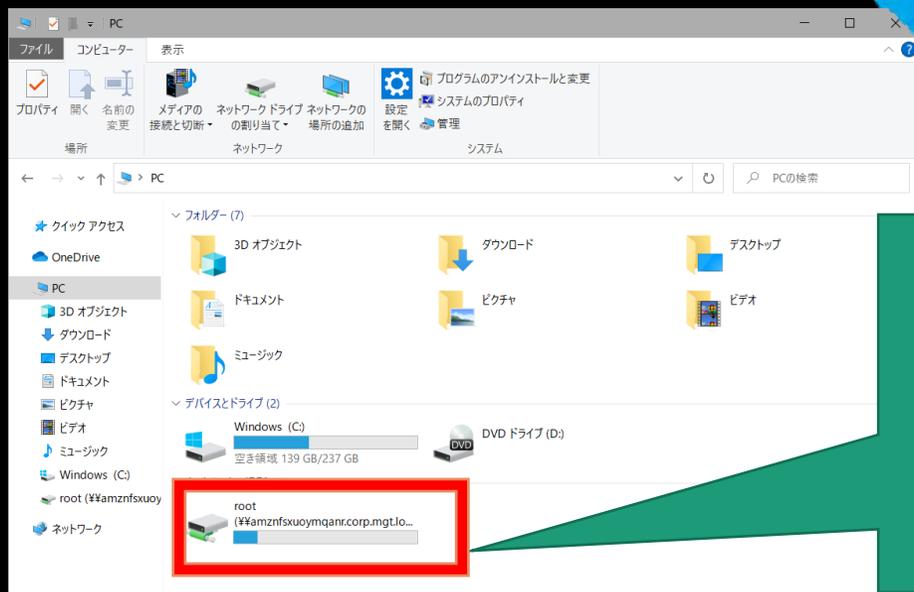
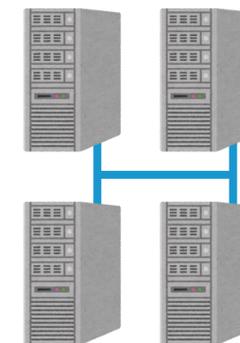
使い方は今まで通り

起動時に自動接続



インターネット
暗号化網

AWS



普段使っている

Windowsのファイルエクスプローラーを使って接続
新しい技術を習得したり特別なツールを使う必要はなく
クラウドを意識することなく利用できます

ファイルサーバーのディスクは2重化

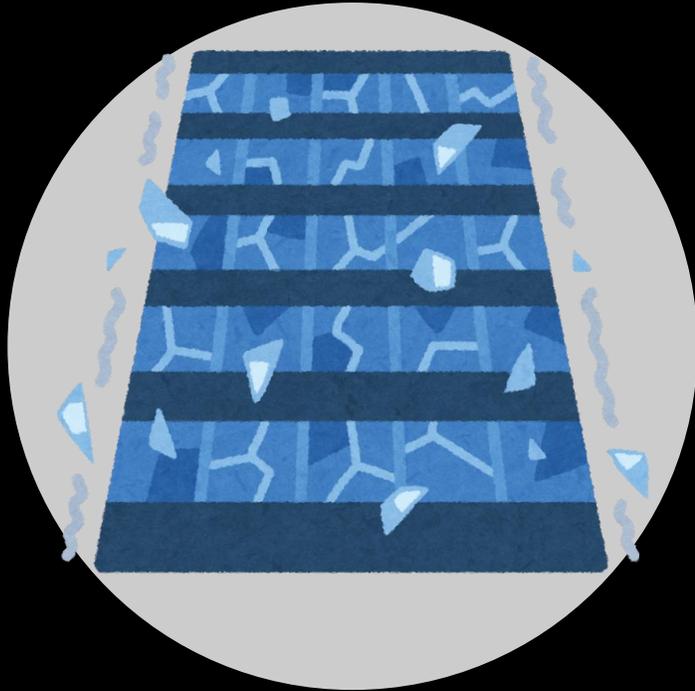


デスクトップのBCP対応について

デスクトップのクラウド化を行います
デスクトップのクラウド化は、AWSが提供している仮想デスクトップ・WorkSpacesを利用します

BCPを兼ねたテレワーク

どのようなシーンで役に立つか・・・



地震や台風などの自然災害

パンデミック

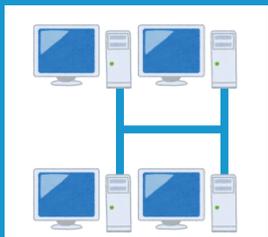
WorkSpacesなら...



データは安全に守られる

仮想デスクトップ・WorkSpacesなら
ソフトを入れるだけで
会社から自宅から接続が可能

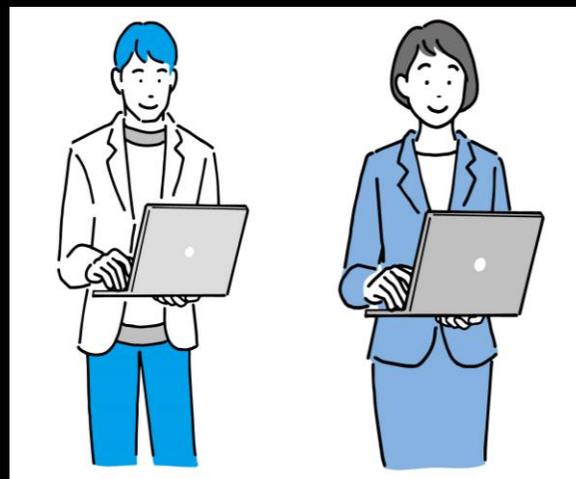
社内から



ご自宅



会社～自宅間で
重たいノートパソコンを
持ち歩かなくて済む

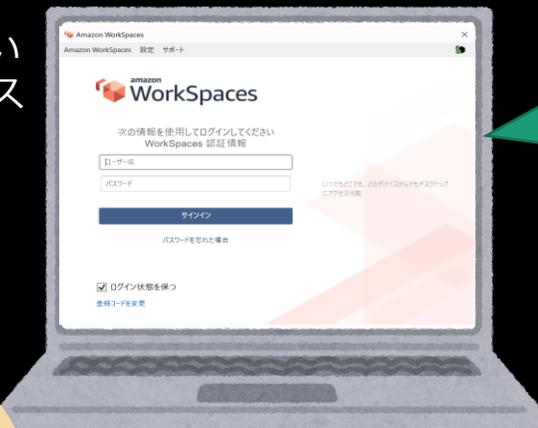


持ち歩かなくて済むので
盗難の心配も不要



仮想デスクトップ・WorkSpacesの利用方法は・・・

WorkSpacesというアプリをインストールしたら・・・

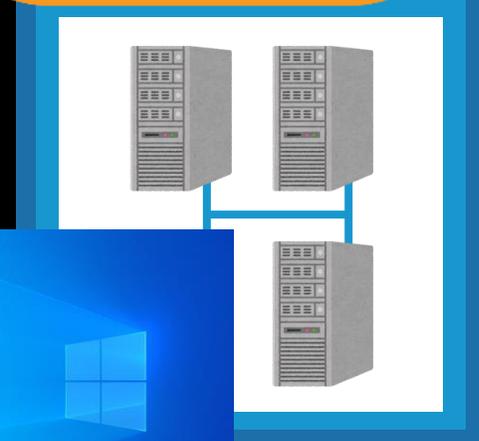


① WorkSpacesにログイン



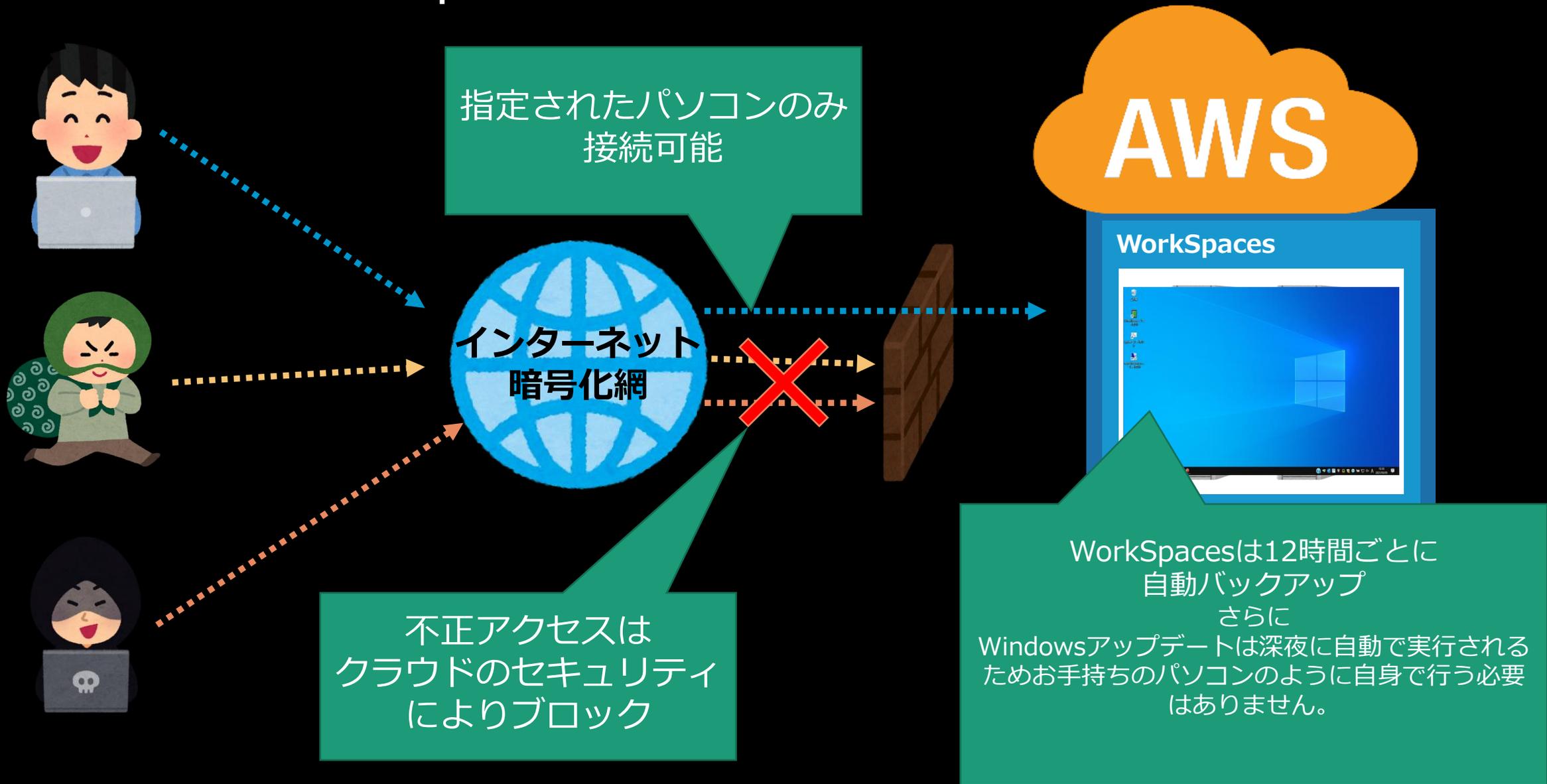
③ Windowsの画面がアプリに転送されます。通常のパソコン操作と同様に使用できます。

インターネット
暗号化網



② AWSのWindowsが起動

仮想デスクトップ・WorkSpacesは安全・安心



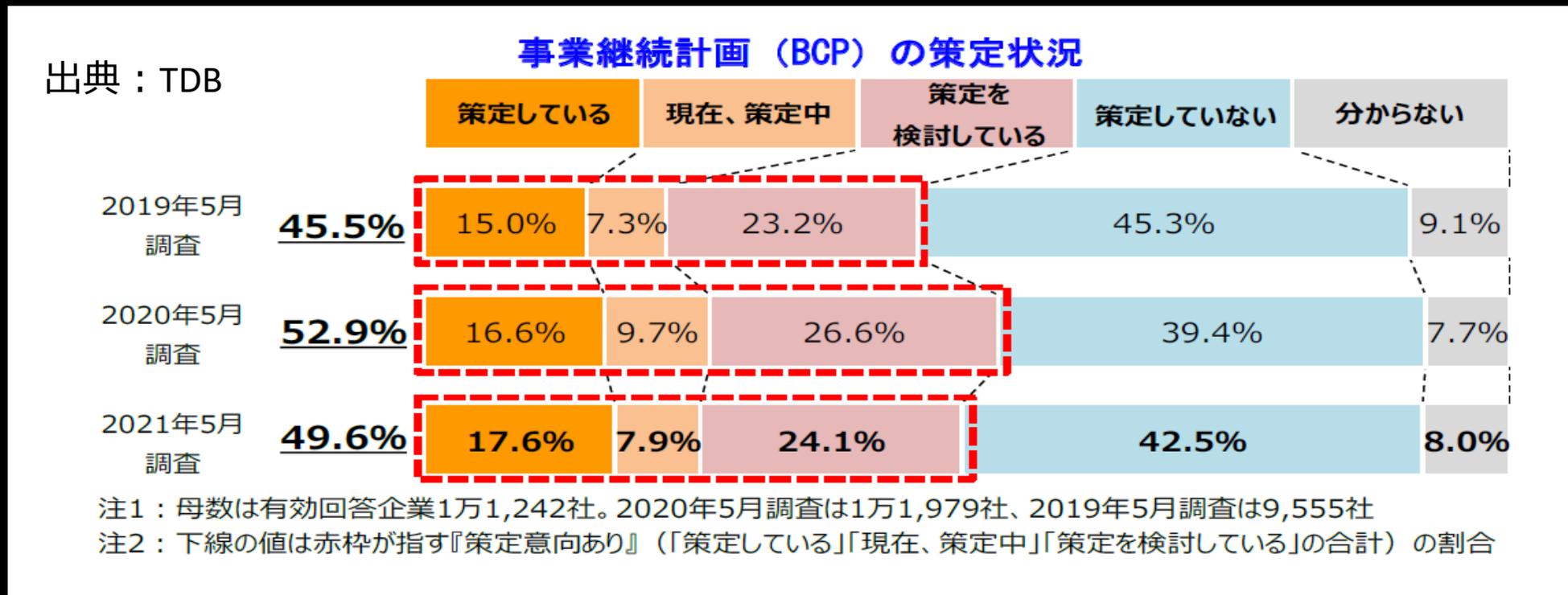
BCP

中小企業の取り組みについて

2021 年は、東日本大震災から10 年が経過した節目の年に当たります
その間にも台風や地震などの自然災害は各地で相次ぎさらに新型コロナウイルスの感染拡大やサイバー攻撃の増加など企業活動に影響を及ぼすリスクは山積しています

そうしたリスクを事前に想定し発生後の対応措置などを事前に準備しておくことは事業の継続のみならず企業価値の維持や向上の観点からも欠かせない要素となっています

BCP策定状況は…



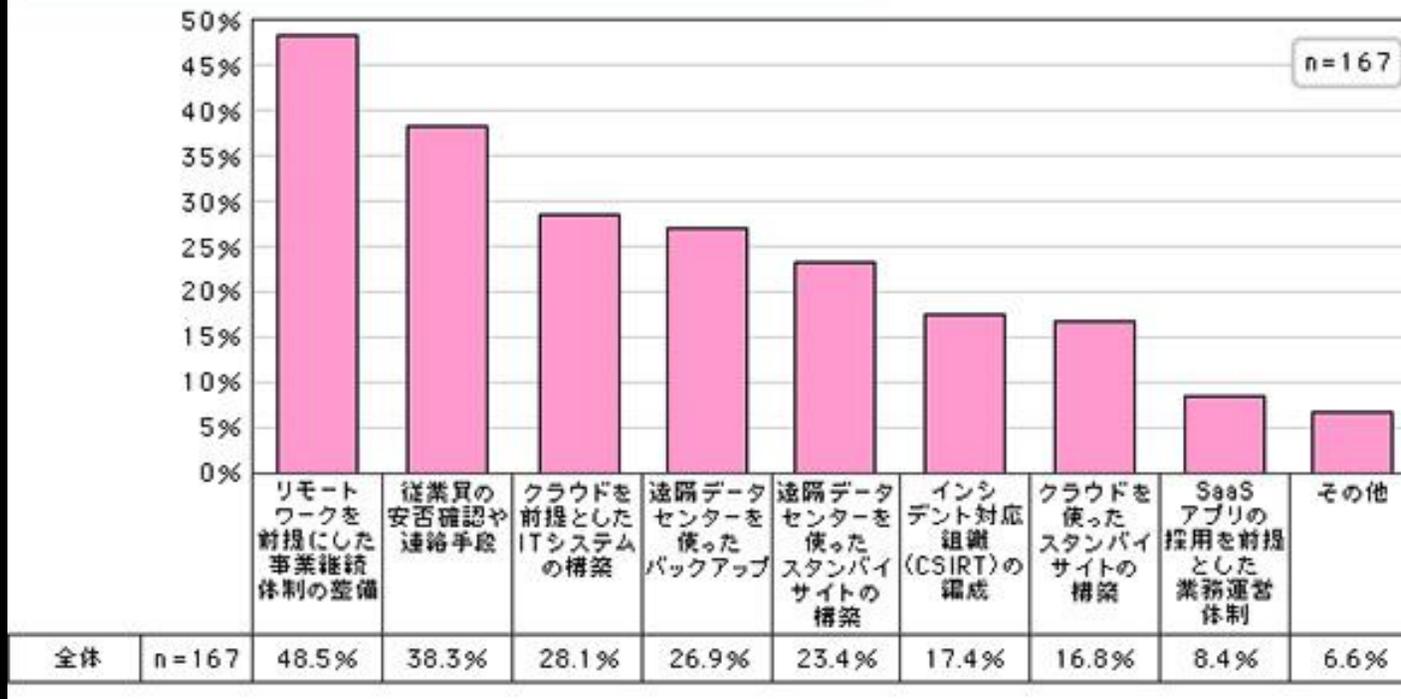
「策定している」 企業の割合いわゆるBCP策定率は17.6%となり2020年5月から1.0ポイント増加しています

BCP策定率は年々上昇し過去最高を記録したものの未だに20%を下回っておりアメリカの策定率61%と比べると著しく低い低水準となっています

BCPで重視する項目は…

出典：ITMedia

図2 システムの事業継続計画を策定あるいは見直す際の重視項目



システムの事業継続計画を、策定あるいは見直すとしたら、具体的にどのような項目を重視するかでは

- 1番は 「リモートワークを前提にした事業継続体制の整備」 で、48.5%、
- 2番目は 「従業員の安否確認や連絡手段」 が、38.3%、
- 3番目に 「クラウドを前提としたITシステムの構築」 が、28.1%

という結果となりクラウドを利用したテレワーク体制がそのままBCPの対策になる、という認識があることも分かりました



**BPCに対応した
テレワーク環境の構築・運用は、
弊社の「テレワーク助け隊」が
サポート致します**

ただ単に、テレワーク環境を利用する

というのではなく、BCP対策も兼ねたテレワーク環境を利用するという考えてはいかがでしょうか。

お問い合わせ

お問い合わせについては、下記のURLまたはQRコードからお願いいたします。

テレワーク導入に関するお問い合わせはこちらから

https://www.marimo-gt.co.jp/contact/index_telework.html



AWS導入に関するお問い合わせはこちらから

https://www.marimo-gt.co.jp/contact/index_aws_inquiry.html



どんな些細なことでもお問い合わせください。
クラウドがどんなものかを知るところから始めましょう！